『環境共生』論文審査申込書

|  |  |
| --- | --- |
| 論文名（日本語） |  |
| 英文論文名 |  |
| 著者氏名・所属・会員区分  （全著者） |  |
| 英文著者名・英文所属機関名 |  |
| 連絡先 |  |
| 第2連絡先 |  |
| 郵便番号  住所 | 〒 |
| TEL |  |
| FAX |  |
| E-mail |  |
| 論文要旨  （日本語）  （400字程度） |  |
| 英文要旨  （300語程度） |  |
| 希望する審査のカテゴリ　※一つに○ | １. 原著論文　　　　２. 研究ノート　 　　　３. 論説・報告  （原則10頁以内）　　（6頁以内厳守）　　　　　（原則10頁以内） |
| 審査のカテゴリの変更について　※一つに○ | １．希望しないカテゴリでの審査も受け入れる  ２．希望するカテゴリを変更しての審査は希望しない |

論文カテゴリー表

応募論文について，Ａ．Ｂ．Ｃそれぞれの関連する項目に◎または〇を記載すること（複数記載可）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Ａ．環境共生に関連する都市・地域の課題 | 関連度 (◎、〇) | Ｂ．地球規模の課題・経済・社会の課題/解決に向けた取り組み等 | 関連度 (◎、〇) | C．研究の性格 | 関連度 (◎、〇) |
| A1.レジリエントな国土・防災 |  | B1.気候変動緩和・エネルギー問題 |  | C1.環境共生の理念・体系化への寄与 |  |
| A2.人口減少・少子高齢化・地域経済 |  | B2.気候変動影響・適応策 |  | C2.新たな事実、問題、課題、知見の発見・提示 |  |
| A3.持続可能なまち・地域づくり、地域活性化、伝統・文化の継承・活用 |  | B3.生物多様性の減少 |  | C3.環境情報の蓄積・活用等の高度化(社会調査、IoT等) |  |
| A4.持続可能な農林水産業・グリーン産業 |  | B4.鉱物資源制約 |  | C4.環境実態・動態解析 |  |
| A5.都市と農山漁村の共生 |  | B5.食糧生産/窒素等負荷の増大 |  | C5.モデル化（数値シミュレーション、統計モデル、AI等） |  |
| A6.再生可能エネルギー・バイオマス活用 |  | B6.砂漠化等土地利用変化による問題 |  | C6.環境共生方策、社会実装の設計・実施・理論化等 |  |
| A7.緑地・里山・森林保全・野生鳥獣 |  | B7.淡水資源の不足 |  | C7.法・制度・政策等提案・提言 |  |
| A8.都市計画 |  | B8.海洋汚染（海洋プラスティック問題を含む） |  | C8.ステークホルダーとの協働による研究 |  |
| A9.交通 |  | B8.途上国／越境環境問題 |  | C9.その他  （　　　　　　　　　　） |  |
| A10.QOL・持続可能なライフスタイル |  | B9.アジェンダ2030／SDGs全般 |  |  | |
| A11.持続可能な資源循環・廃棄物 |  | B10.SDGs（ターゲットを指定すること） |  |
| A12.大気・水・土壌汚染，化学物質リスク |  | B11.ESG投資 |  |
| A13.災害下の環境問題 |  | B12.経済・社会・環境の統合 |  |
| A14.その他  （　　　　　　　　　　　） |  | B13.デジタル経済の影響 |  |
|  | | B14.科学技術的・社会的イノベーション |  |
| B15.教育・人材育成 |  |
| B.16その他  （　　　　　　　　　） |  |

「B10.SDGs（ターゲットを指定すること）については１７のゴールだけでなく，１６９のターゲットを

指定すること．例えば〇でゴール１３のターゲット２の場合は「〇13.2」と記載すること．

送付先：〒470-0195 　愛知県日進市岩崎町阿良池12

愛知学院大学総合政策学部　石橋研究室内

日本環境共生学会　本部事務局　論文募集担当

TEL: 090-7918-9179 FAX: 0561-73-4403　E-mail: [jahes@dpc.agu.ac.jp](mailto:jahes@dpc.agu.ac.jp)